

動物実験廃止への貢献を表彰する 最大規模のプライズ『LUSH PRIZE 2014』に 日本人研究者がノミネート

フレッシュハンドメイドコスメ LUSH(ラッシュ)が、2012年に英国にて動物実験の廃止を目指して設立した LUSH PRIZE (ラッシュプライズ)に、設立3年目となる2014年度、3名の日本人研究者が最終選考に残りました。ラッシュプライズは、化粧品のための動物実験代替法の開発・普及活動を行う個人や団体に賞金を授与するもので、2年ぶりに日本人研究者のノミネートが決定いたしました。9月の最終審査を経て、11月に授賞式が予定されています。創立当初より化粧品のための動物実験反対をブランドの信念に掲げるラッシュは、ラッシュプライズを契機に、日本国内においても代替法の研究や普及に携わる個人や団体がより活発に取り組める環境になり、一日も早く世界中で動物実験が廃止されることを願い、ラッシュでは引き続き活動を続けてまいります。



動物実験廃止への貢献に送られる最大のプライズ、『ラッシュプライズ 2014』に、3名の日本人研究者が最終選考に残りました。

今年で3年目を迎えるラッシュプライズは、サイエンス、ロビー活動、キャンペーンに渡る5つのカテゴリーにおいて毎年25万ポンド(約4300万円)の賞金を授与しています。特に化粧品と毒物学(化学試験)の分野で、動物実験の無い未来を実現するための様々な研究に、それぞれの賞が授与されます。日本から最終選考に残ったのは、高木昌宏教授(北陸先端科学技術大学院大学)、小名俊博教授(九州大学)、楠元久美子研究員(大阪市立大学)の3名。

世界17ヶ国35機関からの最終選考候補者の中から、9月に開かれる最終審査会を経て、今年の実賞者が決定します。欧州、ブラジル、韓国からの動物を使用しないサイエンス、政治、キャンペーンの各分野の専門家8名で構成される審査員は、動物実験問題に対してグローバルな視点を審査に提供し、受賞者は11月のロンドンでの授賞式で表彰されます。

ラッシュプライズの広報担当者、クレイグ・レッドモンドは、「今年のノミネートでも、化学品や化粧品テストに使われる、科学的根拠のない動物実験や残酷な行為に終止符を打つ、素晴らしい研究が世界中で行われている事が明らかになっています。科学者や政治家は、動物を使用しない安全性テストが未来の発展をけん引することをより強く認識し始めており、ラッシュプライズは毎年の25万ポンドの賞金授与を通してこうしたイニシアチブを支援しています。ラッシュプライズとは、中国で動物を使用しない実験方法を推進する研究者から、アメリカの実験動物の使用を規制し、また実験動物の権利擁護を促す法律まで、動物にとっての良い未来やさらなる科学の発展のための様々な活動を表彰する場所なのです。」とコメントしています。

3年目のラッシュプライズは、フレッシュハンドメイドコスメラッシュと、エシカルコンシューマーリサーチアソシエーションが協力し、動物不使用の毒物学を支援するものです。参照: www.lushprize.org

日本からの最終選考ノミネート:

高木昌宏教授(北陸先端科学技術大学院大学) www.jaist.ac.jp/index-j2.shtml 科学賞

小名俊博教授(九州大学) 科学賞

楠元久美子研究員(大阪市立大学) 若手研究者賞

最終選考ノミネート者の全リストは以下:

<http://www.lushprize.org/2014-prize/2014-shortlist/>

国際審査パネルの詳細は以下から:

<http://www.lushprize.org/2014-prize/2014-judges/>

5つの賞カテゴリーに渡り代表となった国は、欧州9ヶ国(ブルガリア、デンマーク、フランス、ドイツ、イタリア、オランダ、スペイン、スウェーデン、英国)、オセアニア(ニュージーランド、オーストラリア)、南北アメリカ(アメリカ、ブラジル)、アジア(インド、日本、台湾)、アフリカ(南アフリカ、ケニア)。

ラッシュプライズのカテゴリーは、サイエンス、トレーニング、若手研究者、ロビー活動、認識向上。

全詳細: <http://www.lushprize.org/awards/>